

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2023年
1月号発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>発行責任者
司祭 瀬山 会治印刷所
文明堂印刷所神戸教区第92
(定期)教区会 開会演説

神戸教区主教 オーガスチン 小林 尚 明

本日、ここに日本聖公会神戸教区第92(定期)教区会を開催するにあたり、教区事務所2会場、各教会15会場にご参集いただき、心から感謝申し上げます。

昨年に引き続き今年も教区会をリモート形式で行うことになりました。今年教区主教として地方の教会を巡回しました時に、「今年は教区会を是非大聖堂で行ってください」という代議員の方々の声を聞きました。私自身も今年は大聖堂に皆さんが集まって頂き、

共に開会礼拝を行い、神様の恵みに与り、教区の発展のために共に祈りを捧げたい、という思いを強く持っていました。しかし、開催場所を決定する8月の時点では、コロナ

感染が収束したとは言えず、今年もリモート形式での開催になりました。来年こそコロナが収束し、皆さんと共に対面での教区会が開催できますようにお祈りしたいと思います。

今回もリモート形式ですので、教区会の常任委員、特に

議員資格調査委員の指名につ

いて、各会場に必要ですので人数の変更があることをご理解ください。またインターネットを用いての会議ですので、思いもよらないことが起こるかもしれません。その際は、ご理解いただければ幸いです。コロナ禍の中、今教区会に聖霊なる神様のお導きを祈りながら、始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

人事

今年度の教役者の動きです。広島復活教会牧師マルコ藤井尚人司祭は、体調を崩し転地療養の為松山に移り、体調の回復に努められています。一日も早い回復をお祈りしています。これにより広島復活教会の副牧師バルナバ永野拓也

司祭を広島復活教会の牧師、呉信愛教会の管理牧師に任命しました。永野司祭は有能な教役者ですが、広島と呉の教会では負担が大きく、なんとか負担を軽くする方法を現在考えているところです。セバスチャン浪花朋久司祭は、教役者としてのスキルアップのため、4月から3年間立教学院に外向を命じました。現在、東北教区に外向中のテモテ遠藤洋介司祭は4月に亜祐子(あゆこ)さんと聖婚式を挙げ元気に頑張っています。2024年3月には神戸に帰って来る予定です。大阪教区に外向中のシモン原田佳城司祭は、来年3月末まで休職中です。

(注1)

次に訃報ですが、1月16日伝道師クララ村瀬都先生は下関で静かに信仰生活を続けておられましたが、急に体調を崩され逝去されました。享年91歳。1月26日伝道師サロメ飯塚マリ子先生が逝去されました。享年99歳。5月7日(土)

神戸昇天教会で先生の逝去者記念式を行い、天国での先生の魂の平安をお祈りしました。8月30日ヨハネ古本純一郎主教が逝去されました。享年88歳。教区として古本純一郎主教の逝去者記念式を11月26日(土)神戸聖ミカエル大聖堂にて予定しています。9月11日八代学院、教区事務所勤務されましたステパノ高橋正平司祭が逝去されました。享年75歳。10月8日ルカ伊神努司祭が逝去されました。享年78歳。私はちょうど松山、大洲の教会の巡回で松山にいます。8日の通夜の祈り、9日の葬送・告別式をさせていただきました。伊神先生には約50年お世話になりました。先生は約2週間前に岡山の入院先から故郷の松山の病院に転院されたところでした。先生の葬儀を行わせていただき、私たちの命は神様のご配慮のもとにあることを実感し、大きな慰めを与えられました。そして11月19日(土)神戸聖

ミカエル大聖堂の納骨室に先
生のご遺骨を安置させていた
だきました。

コロナ対策

教区としてのコロナ対策に
ついては、報告書40ページか
らの「新型コロナウイルス感
染症対策室報告」をご覧ください。
今年に入り1月から感
染が急速に拡大し、第6波と
なりました。教区としては、「教
会活動の自粛基準（2020
年11月5日版）」の厳守をお願
いし皆さんの協力をいただき、
各教会からはクラスターの発
生はありませんでした。感染
が少し落ち着いた時、「4月17
日のイースターには陪餐した
い、陪餐できないか」という
声がありました。そこで状況
を分析し、①多くの信徒の方が
三回目のワクチン接種を終え
られたこと。②オミクロン株に
置き換わりこれまで判断基準
としてきた新規感染者数の意
味が薄れてきたこと。③感染拡
大3年目に入り我々が「ウイ

ズコロナ（コロナと共に）」の
生活の経験・学習を重ねてき
たこと、などを考慮し「教会
活動の自粛基準」を改訂しま
した。改訂の大きな基準は感
染者数ではなく、政府から新
型インフルエンザ等対策特別
措置法に基づいた布告（まん
延防止等重点措置や緊急事態
宣言など）が出されているか、
いないかということにしまし
た。そして、布告が出されて
いない場合をフェーズ1（注
意喚起）として、限定された
聖餐式・陪餐を可能としまし
た。改訂された「教会活動の
自粛基準（2022年4月4
日版）」を参照ください。（報
告書41ページ）

ただ各教会の置かれている
地域の状況が違いますし、各
教会の規模も違います。それ
ぞれの教会で話し合って、そ
の教会に合った感染対策をお
願ひしたいと思います。また
自粛基準の「牧会上の注意事
項」にあります「茶話会昼食
を含む集会等の延期または中

止」という指示です。これは、
お茶や食事を含む集会等であ
って、含まない集会は、感染
防止に十分注意して行ってく
ださい。

報告書の128ページから
「宣教委員会報告」があります。
その中で今年の夏、宣教委員
会が行ったアンケートの集計
が報告されています。その中
で、信徒のみなさんが「教会
活動として望んでおられるこ
と」の第一は、「聖書研究会」
です。また、「どういう教会で
あってほしいか」という問い
の第一は、「よい説教を聞き、
陪餐して、礼拝後に親しい人
と話せる」です。そして、「あ
なたは牧師に何をしてほしい
か」の第一は、「宣教のために
信徒を指導してほしい」、第二
は、「信徒と親しくしてほしい
」、第三は、「いつも相談に
のってもらいたい」です。「新
型コロナウイルス感染症対策
室」の10月の会議では、公衆
衛生の専門家の方が、「感染対
策を実施しながらイベントを

実施しても良いと考える」と
発言されています。飲食を伴
わない集会、交わりを開始す
る時が来ているのです。

今後、宣教委員会がアンケ
ートの分析、検討を行い、教区・
教会への宣教提言がなされる
ことを期待しています。

西日本宣教協働区

霊の日礼拝、8月6日（土）
広島平和礼拝、8月9日（火）
長崎原爆記念礼拝の協働を行
ってきました。その中で今年
初めて一枚のポスターに三つ
の礼拝が案内され、平和のた
めの礼拝に一つの流れが出来
たように思います。

(2) 管区担当者会

一昨年の日本聖公会第65定
期総会において、日本聖公会
を三つの宣教協働区に分け、
各々の宣教協働区において、
区内の運営、宣教・牧会など
について協働を推進してきま
した。今年の活動については、
報告書130ページからのと
ころに詳しく報告してありま
す。一年間活動して来ましたが、
最初に期待していた以上の
成果が上がったのではない
かと思います。今年から協働
活動を三つの部門に整理しま
した。

(1) 平和のための礼拝

6月19日（日）沖縄教区慰

管区の担当者「正義と平和
担当者」、「青年担当者」、「人
権担当者」のそれぞれが会議
を持ち、情報交換と相互参加
を行ってきました。「青年担当
者会」の分かち合いから、8
月3日（水）沖縄教区青少年
担当が企画した平和学習プロ
グラム（Web開催）、8月17
日（水）神戸教区中高生大会
（Web開催）には、他教区か
らの参加者もあり、大いに励
まされました。「人権担当者会」
の神戸教区担当者からは、「一
つの教区ではできない活動が、
三つの教区が協働するなかで
可能になっていくように感じ
ます。生活に根差した活動を

目指していきます」との声が届いています。

(3) セミナー

セミナーに関しては、神戸教区の企画した神学塾信徒セミナーや通信講座に、他教区から講師としての協力や受講を頂き、良い協働になっています。112ページからの神学塾運営委員会報告も参照ください。

神戸教区

マイラ姉支援室

2020年10月フィリピン聖公会北ルソン教区信徒マイラ・エステバン・ドツキョゲンさんが、香川県内でお仕事からの帰宅途上、交通事故に遭い瀕死の重傷を負いました。幸い一命はとりとめられましたが、現在も意識不明の重体です。神戸教区は、支援室を立ち上げ、現在も支援しています。マイラさんの病状及び日本の医療制度上転院も難しく、主治医からは帰国を強く

勧められているようです。多くの教会でマイラさんのために、お祈り下さっていることを感謝しています。マイラさんとご家族にとって、よりよい道が開けますようにお祈りください。

聖職候補生の発掘

昨年、神学生後援会に匿名で多額の献金(一千万円)をいただきました。また各教会から後援会会費を納めていただいています。報告書121ページにある通りです。心からお礼申し上げます。その中から一千万円を聖職養成資金に献金させていただきました。ただ現在、神戸教区には神学生がおらず、聖職養成には苦戦しています。107ページからの聖職候補生養成委員会報告の中にありますが、昨年コロナ禍で中止しました召命黙想会を今年は宝塚の黙想の家で行うことが出来ました。候補生の発掘について報告の中にもありますが、聖職と青

年の出会いを大切にし、教区の宣教部との連携も視野に入れ、聖職、信徒共に祈りをもつて発掘に努めていきたいと考えています。ご協力をお願いします。

教区一般会計

報告書72ページからのところに詳しく報告されていますが昨年は、1月と12月に各教会の拠出金(教区活動費三五〇万円×2回)を免除し、コロナ禍にある各教会を支援しました。各教会も昨年の統計報告の決算報告をみますと前年より大幅に改善されている様子がうかがえます。これは各教会のみなさんのご努力の結果だと思います。教区としても2023年以後も教区経費の削減に努め拠出金の減額を目指し、教会の負担を減らし教会の宣教活動活性化につながるように願っています。

皆で支援しようとする仕組みです。これは必要な制度で、今後も堅持していかなければならないと考えています。しかし、現在の神戸教区には牧会資金援助金の制度を明文化したものではありません。そこで財政委員会とも協議しながら明文化に向かっていきます。先日行われた伝道区長会議にも試案を提示しています。各伝道区でもこの試案を協議していただき、より良いものを作っていきたいと考えていますので、ご意見をお寄せいただければと思います。

2023年宣教協議会

2023年11月10日(金)13日(月)の3泊4日、山梨県清里にある清泉寮を会場に行われます。今回のテーマは、「いのち、尊厳限りないもの」となりびとになるために「です。実行委員会から広報誌「ぶどうの枝だより」が発行され、それを神のおとずれに掲載しています。そこに

今回の協議会の目的や大切にしたい事が示されています。教区主教を含め各教区から8名の参加が求められています。参加者の選定にはジェンダー・バランス、年齢を考慮する必要があるとあります。協議会前に全体の事前学習や各教区での学びも求められます。私も前回2012年の協議会に参加しました。しかし、その時は十分な事前学習もなく、協議会で学んだ事を教区の宣教に生かせなかったように感じています。今回の協議会のために人選を早め、これまでの宣教協議会が何をしてきたのか、また今回の協議会が何を目的に開かれるのかを参加して下さる方々と十分に確認して臨みたいと考えています。参加者として選ばれる方々のご協力をお願いします。

ランベス会議

皆様のご支援とお祈りをいただき、7月27日(水)18月7日(日)までランベス会

議に参加してきました。多くの学びや貴重な経験もさせていただきました。心からお礼申し上げます。9月10日(土)には、神戸伝道区の行事として大聖堂で「ランベス会議参加報告会」を行い、インターネットで配信もすることが出来ました。その時の動画は、教区のホームページから見ることができます。また9月以降、巡回の度に各教会で報告会をさせていただいています。そして来年5月、岡山で行われる教区婦人会大会でも報告をさせていただく予定になっています。

その会議での大きな学びは、宣教ということでした。ジャスティン・ウェルビー・カンタベリー大主教は三回の主題講演をされましたが、第3(最終)主題講演において、宣教の5指標(注2)をもちいながらお話をされました(注3)。

その一つ「語る」と(Tell)：神の国のよき知らせを宣言すること」の中で、「より深く成

長し、数を増やしている多くの教会の強みは、誰もが福音を知り、イエス・キリストとの愛と出会いについて自らの証しを語ることができるということです。彼らは雄弁ではないかもしれませんが、神学はやや粗雑かもしれませんが、しかし、彼らが心から語る時、他の人々は耳を傾けるのです。そして、彼らの変えられた人生そのものが、その言葉を物語るのです。」と説明されています。また、今回の「ランベスからの呼びかけ(ランベス・コール)(注4)」の「弟子であること」の最初には、私たちクリスチャンはイエス様の弟子であって「弟子とは学ぶ者である」と定義されています。しばしば地方の小さな教会で、信徒数が減り、高齢化が進むなか「私たちはどうすればいいのですか」という問いかけを受けます。それに対する答えはこれです。私たちが福音を知り、イエス様との愛と出会いはについて語れる者になる

ことです。雄弁でなくてもいい、神学が貧しくてもかまいません。心から語れる者になれるよう「学ぶ者」になりましょう。大主教が信徒時代を過ごしたロンドン・ブロンプトンの聖三一教会は、キリスト教の入門コース・アルファ・コース(Alpha Course)の発信地として有名な教会です。大主教もこのコースで学ばれたのかもしれませんが、ケンブリッジ大学卒業後、製油業に12年間お勤めでしたが、そこから神様からの召命を受け、牧役者の道を進むようになったそうです。キリスト教のよい学びを通して、自らが証しできる信徒になっていくこと、そのことをランベス会議は私たちに求めているのです。

たくさんのお話をしました。これらのことをご理解いただき、本年にもまして来年度も神戸教区に対してご支援をお願いして、私の開会演説といたします。

(注1) 人事関係

司祭 マルコ 藤井尚人
2022年3月31日付 広島復活教会牧師の任を解く
呉信愛教会管理牧師の任を解く
4月1日付 松山聖アンデレ教会牧師に任命する
大洲聖公会管理牧師を委嘱する

司祭 バルナバ 永野拓也
2022年3月31日付 広島復活教会 副牧師の任を解く
4月1日付 広島復活教会牧師に任命する
呉信愛教会 管理牧師を委嘱する

司祭 セバスチャン 浪花朋久
2022年3月31日付 松山聖アンデレ教会牧師、大洲聖公会管理牧師の任を解く
4月1日付 立教学院に出家を命ず 期間2022年4月1日から3年間

(注2) 宣教の5指標

- (1) 語ること(Tell)：神の国のよき知らせを宣言すること
- (2) 教えること(Teach)：新しい信徒を教え、洗礼を授け、養つこと
- (3) 貢献すること(Tend)：愛の奉仕によって人々の必要に応答すること
- (4) 改革すること(Transform)：社会の不正な構造を改革し、あらゆる暴力に反対し、平和と和解を追求すること
- (5) 宝物(Treasure)：被造物の本来の姿を守り、地球の生命を維持・再生するために努力すること

(注3)

全文はデータで各教役者に送っています。興味のある方は各教役者にお尋ねください。

(注4) ランベス・コール

今回の会議で10個のコールが話し合われた。正式には、来年2月アフリカのガーナで行われる全聖公会中央協議会(ACC)を経て発表されると聞いている。

追悼 ルカ伊神努司祭



伊神司祭雑感

主教 アンデレ 中村 豊

伊神努司祭逝去の報に接し、個性あふれる聖職がまた一人去っていったとの思いを抱きました。

伊神司祭は神学校卒業後、四国や山陰・山陽の教会に赴任し、牧会活動と共に聖職養成や教会・牧師館などの修復にも貢献されました。1970年代半ば、米国聖公会は日本聖公会に資金援助打ち切りを通告し、教会の自給が喫緊の課題となりました。神戸教区は貧乏人の子沢山で、特に地方では経済的に苦しい教会が多く、その一助として、週

日に牧師夫人の多くが働きに出、給与の一部を献金として献げ、収入不足を補っていたのです。営繕資金も僅かで、

瀬山岩雄司祭が音頭をとり山陰工作隊を結成し、伊神司祭もこれに加わって教会や牧師館、教区事務所の補修・改修を行いました。伊神司祭の大作としての技能にも磨きがかかり、これが倉敷聖クリストファー教会の十字架と祭壇等に結実しました。

阪神・淡路大震災に際しては、伊神司祭は浜田から救援物資を満載した自動車で姫路に到着し、そこからバイクで神戸入りして大聖堂地下の仮事務所設置に尽力しました。礼拝堂復旧のために神戸聖ヨハネ教会を訪れた時のことです。私の目の前で電動のこぎりでコンパネをカットしていた時、手が滑って指が刃に当たりました。幸いにも、緊急手術のおかげで指は無事に再接着したという出来事もありまし

た。

教区会間近になりますと、伊神司祭は委員会報告を隅から隅まで読んで問題点を洗い出すのです。教区会の質問事項は前もって提出するよう、古本主教は要請するのですが、伊神司祭はどこ吹く風で聞き流します。突然の質問攻めに答弁者はしどろもどろになるのが常で、伊神司祭対策ミーティングまで開いた聖職もいたと記憶します。管区総会では、誰がなんと言おうが、毎回、「女性司祭反対議案」を提出しました。

伊神司祭はほぼ毎年、中高生大会に顔をだしましたが、付き添いで参加した7・8名の聖職と持参の逸品を自慢し合い、牧会体験を酒の肴に夜更けまで語り合いました。現在まで13か所で実施され、参加者のうち20名が聖職を志願した青年交流会ワークキャンプでも若い人たちに交じって汗を流しました。独身を貫いた伊神司祭は自

炊の毎日でした。年を追うごとに料理に偏りがみられて味も濃くなり、これが原因で血圧が上昇して体を痛めつけ、9月末、岡山から60年ぶりに生まれ故郷の松山に帰りました。これで良しとされたのか、3週間後、神は伊神司祭78年の人生を取り去ったのです。

(前神戸教区主教)

伊神先生の思い出

ウィリアム 勝部 径司

1982年10月3日CX501便は、瀬山岩雄司祭を隊長とする第2回パプア・ニューギニアワークキャンプ隊11名を乗せ香港啓徳空港へと飛び立った。最終目的地はパプアにあるポメティ村。この時の副隊長が伊神努司祭、目的は現地の修道士団と共にチャレンハウスの基礎工事。当時の私は誘われるがまま求道者としてキャンプに参加することになった。10月10日殉教

者ジョン・バージ司祭(戦時中日本兵によって殺害)の墓前で聖餐式。現地の人々には複雑な思いもあったであろうが赦されての墓参でもあった。聖餐式の前に私の洗礼式、伊神司祭が司式。名親はウィリアム・デイ修道士と岩坪医師、洗礼名はウィリアムを頂いた。

伊神司祭との出会いはこの1年ほど前、81年浜田基督教教会で行われた合宿訓練に伊神司祭が駆け付けてくれた。特徴的な風貌(ひげ面)独特な語り(伊予弁)確かな職人としての腕と男前の性格に、参加者が隊員としての参加を懇願しキャンプへの参加が決定した。

伊神司祭は1983年5月から1996年3月の間、浜田基督教教会に赴任されました。伊神司祭が安らかに眠られますようお祈り申し上げます。

(浜田基督教教会信徒)

鳩だより

《敬称略》

祝洗礼・堅信

9月5日(月)

マリ ア 多々内 佑佳

神戸聖ミカエル教会

11月13日(日)

ルチ ア 猪井 茂美

富岡キリスト教会

山陰伝道区

山陰伝道区修養会

10月10日(月・祝)に山陰

伝道区修養会を米子聖ニコラス教会にて行いました。「その日のために」と題して、病



気等により入院した時、危篤となった時の対応、通夜や葬送告別式などの流れについて話を聞きました。

その後、信仰生活における終活として、教会版のエンディングノートを実際にその場で書いてみました。家族と終活について話をするきっかけになったという声もあり、実りの多い修養会となりました。参加者31名。

徳島伝道区

教会バザー開催

去る11月12日(土)午前10時〜12時に徳島インマヌエル

2月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

日時 2023年2月9日(木) 午前10:30

場所 神戸聖ミカエル大聖堂

司式 主教 小林 尚明

説教 司祭 長田 吉史

※中止の場合がございます。恐れ入りますが、ご出席される方は、事前に教区事務所までお問合せ下さい。よろしくお願い致します。
教区事務所 TEL.078-351-5469

* 2月の記念逝去教役者

3日	司祭	ハリー	ウッドワード
5日	司祭	バークレイ	バックストン
5日	司祭	ヤコブ	牧野 興三郎
5日	主教	モーセ	村尾 昇一
6日	司祭		竹内 宗六
7日	宣教師	ホノリア	ウォージントン
11日	司祭	ヨハネ	中道 政市
12日	伝道師	ルツ	小南 アサ
12日	伝道師		高木 ぬひ
13日	宣教師	フローレンス	フ ァ ギ ル
16日	司祭	ジョージ	ブ ラ イ ド ル
17日	司祭	ジョージ	ポ ー ル
20日	司祭	ヨセフ	田 中 愛次
23日	伝道師		西村 ひろ
—	宣教師	アリス	パ ー カ ー



教会を会場に教会バザーを開催しました。しばらくコロナのためにお休みしていましたが、3年ぶりに規模を縮小して友愛セールを中心に開催されました。このバザーには伝道区内の諸教会からも献品など協力を頂いています。今回は教会活動のウオーミングアップとして行いました。今後、コロナの感染状況をみながら教会活動を進めていきたいと思えます。

2023年
常置委員 選挙結果

【聖職】

司祭 上原 信幸
司祭 林 和広
司祭 小南 晃

【信徒】

弘井 宗子
大東 正人
末永 忍

(第92回
定期教区会書記)

2月26日
聖公会生野センター
のための日

韓国朝鮮にルーツを持つ人々と共に歩む
聖公会生野センターの
すべての働きのために祈り、
信施を献げましょう。

《お詫びと訂正》

1月記念逝去教役者で
18日のお名前が間違っていました。正しくは伝道師マリア津口和子です。
大変申し訳ございませんでした。
(広報部)